

時報
2020.9

遊火遍林

秋季彼岸 法事

左記のとおり秋季彼岸会総供養

ください。

法要をお勤めいたします。

この度の法要は時節柄二十五名

*新型コロナウイルスの影響により期間
中お寺、ご自宅での読経供養はすべて予約

定員とし、事前予約制といたします。
す。

*お寺にご遺骨をお預けの方は期間中な
制といたします。ご了承ください。

*お寺にご遺骨をお預けの方は期間中な
るべくお参り下さい

九月二十五日（金）

午前十一時半より

予約電話

03-3996-2064

午前九時から午後五時まで

*衆僧総供養読経

それ以外の時間

080-5464-9136

「こんにちは、今日も暑すぎですね」「コロナ收まりませんね」人にお会いした時の挨拶もすっかり変わりました。コロナウイルスも連日四十度近くなる暑さも、私たちを取り巻く環境の変化です。

かつて鈴木大拙という世界に禪を広めた碩学は「西洋の自然しざんと東洋の自然じねんは違う」と看破しました。西洋の自然科学は人間対自然で科学において自然は解明され人間はそれを克服するものであると捉え、東洋では、自然は人間もそこに含まれるこの世界の在り方と捉えます。ひとつは人間の都合の良いように自然をコントロールすることによって快適を求め、ひとつは私も自然の一部としてどう生きてい行くかを求めています。

さきの時候の挨拶のみならず生活のあらゆる事柄が変化せざるを得ないのが現状です。気候変動も、コロナウイルスも自然の環境ですが、それぞれが独立して突然起るものではありません。気候変動は自然の一部である人間が温暖化を止めることなく推進して来た結果ですし、ウィルスの拡散も自動車や飛行機による人間の移動が引き起こしたもののです。科学技術の発展によつてもしかしたら温暖化は抑えられるかもしれません、ワクチンや特効薬によつて新型コロナウイルスの脅威も減少するかもしれません。しかしそれによつてまた新たな環境が生まれまれ、私たちはその変化に随従するしかないのでしょうか。

と、書くとなんだか暗い気持ちになります。これは私も西洋文化の教育を子供のころから受けてきた影響によるのかもしれません。誤解しないでいただきたいのですが、これは、東西どっちが良くて、どっちが悪いとか、優劣の問題ではありません。自然環境を克服できない時それに屈して隨従していると感じてしまう心があるので。また、他者に合わせる時、妥協とか、合わせてやつてるという傲慢意識、隨従等ネガティブなこころが起きます。

突然話が飛びますが、五月から YouTube をほぼ毎日配信しています。真宗会館発行の「言の葉カード」というものを毎日1枚読むのですがその中に

「共に」とは言うけれども

という言葉があり解説には

「共に生きようと」発信することは重要であろう。しかしその「共に」には、他者の在り方や考え方を、自らの都合に合わせて変えようとするものになっているのかもしれない。

とあります。最近よく見かけるローランドというホストの人が言う通り、私の本質は何処まで行つても

「世の中、俺と俺以外」という世界観ですね。

そんな私は「WithCorona(コロナと共に)」といわれても素直に頷けません。しかし、私も自然環境の一部であり、すでにそうせざるを得ないのが事実です。この厳しい環境を、いや、元々環境というのは厳しいものなのでしょう。

そこに生きている私をどう捉え、何を感じ、行動するかは私次第です。そう考えるともうジジイと言われる年になつた私にもまだまだ新しい何かが生まれてきます。

実際に興るおもしい。

せんのち海はとりな
ひやへじづめるゆめうとば
残念がるふのみぞ
のせてさばくす山だけも

合掌

8月のお盆が終わり、一段落、とはならないぞと。

気温が35度を超える日が続いているし、早々に寺報の原稿を書かねばならないし、新型コロナウイルス・熱中症に対するマスク対策やらなんやら気を使わねばならないし、今年の8月は何もすることがないのに忙しいのです。

やめとけばいいのに、5月の末から「note」というブログを始め、毎日セコセコと駄文を投稿していたりもするのです。8年前から始めている「今日の写真」と一緒にホームページに載せている「今日の言葉」について、というか、その言葉から感じたこととその時感じていることを書き連ねています。

そして、順正寺のホームページが8月末に刷新されます！新装OPENです。蛭間デザイン事務所の社長蛭間勇介さんと足利宏治さんの全面協力、といふかほとんど全部おまかせ状態で、すばらしいホームページに仕上がっています。特にTOPページのうちのお寺をイメージしたデッサン、これがすゞくいいんです！是非ご覧ください。このデッサンは、蛭間さんのお嬢さんが描いてくださつたものなんです(^^)

新しいホームページは、9月1日には確実にオープンしていますので、検索サイト（グーグルとかヤフー）で、「練馬区、石神井、順正寺」と検索いただければ、ほぼ確実にヒットすると思います。（「順正寺」だけでもたいてい一番上に検索結果が出るとは思いますが、念の為）。もしくは、パソコンでしたら

<http://junshoji.net> を打ち込んで、携帯・スマホの方は文末のQRコードを読み取ってください。難しい！と思われる皆さま、「わからない！」で終わらせず、これは、お子さん、お孫さん、お友達、道行く若人とのふれあいのきっかけだ！と思われて、「これがみたいから教えて」と頼んでみて、是非ご覧になつてください。そこには、住職の「順正寺ラヂオ」・副住職の「note」・田中ひろみさんの「今月の仏像」などなど、色々楽しいコンテンツが皆さんのご来訪をお待ちしております！色々と考へが廻りますよきっと。「悩みによつてはじめて知恵は生まれる。悩みがないところに知恵は生まれない。by アイスキュロス



暇である。お盆も例年のように炎天下スクーターで走り回ることもなく、「法事も延期、キャンセルが相次ぎ寺院運営者として先行きを考えるとお先真つ暗だ。ストレスも溜まつてくるようだ。で、時間はあるが金は無いので体を使う。そういう新型コロナウイルスのせいにして、運動をさぼった結果5キロも増えた体重を落としてやるのだ。マスクやフェースガードしての読経（8月現在、読経はフェースガードを着用しお勧めしています）で呼吸困難を起こさない体力をつけてやる。8月から入会したジムには色々なメニューがある。取り敢えず片つ端からやっている。

凄いぞ！ズンバ、シバム、ボディイコンバット、ラテンダンス、ジャズヒップホップ etc

なんだか名前だけでは何させられるか分からないものもあるが兎に角音楽に合わせて動き回るのだ。しかもマスクを着用し。ストレスの発散にはすごく良い。しかし！関節が痛い！全身筋肉痛！倍返しだ！やけくそだ！ 住職！
住職からのお願い
今東京では火葬場が不足しています。皆さんご経験のとおり通夜葬儀の日程はお寺の都合により火葬場の都合が優先されてしまします。また土曜、日曜に行われる一日葬が増え、その為「法事の時間のお約束を頂いていても変更をお願いすることがあります。葬儀をお勧めすることはそのお家の方にとって一生の一大事です。そこは相身互い、どうか」「寛恕下さい」というお願い致します

定例行事 いざれも「自由に」参加下さい

聞法会 每月2日夜7時から、「御文」のお話、座談会をやっています（1月、8月はお休み） 2時間ほど

グリーフケアの集い「微妙音」 7月3日、八月お休み

9月以降は毎月5日午後2時より2時間ほど

白色白光の会（婦人会） 每月第2木曜午後1時

お経（正信偈）の練習と法話と茶話会

仏像などり書き、塗り絵「仏像描くぞう」

毎月、第2月曜午後3時と月の最終日曜日午後3時から1時間 参加費三百円（初回のみ別途テキスト代千円）

照久山 順正寺 東京都練馬区石神井町三・十七・四
お問い合わせ。午前9時から午後5時までは

03-3996-2064

それ以外の時間緊急の場合

080-5464-9136